



シリ丹バレー

—兵庫2030年の展望 リーディングプロジェクト—

キックオフミーティング

日時 2020年9月27日(Sun) 13:00~15:30

会場 四季の森生涯学習センター 多目的ホール
(丹波篠山市網掛429) 【参加費無料・事前申込制】

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、座席間隔を空けての着席となります。
また、検温・手指消毒・マスク着用に御協力をお願いします。

WEBでも
中継

第1部 13:00~13:55

—基調講演—

「想像を超える創造」を
生み出すまちづくり

講師

大南 信也 氏

[認定特定非営利活動法人グリーンバレー (徳島県神山町) 理事]

第2部 14:05~14:45

—事例発表&パネルディスカッション—
地域課題解決に貢献する
起業家たち

第3部 14:45~15:30

会場とのクロストーク
(講師・パネリストとの意見交換会)

お問い合わせ・お申込み

兵庫県 丹波県民局
県民交流室 地域振興課



—申込ハッピー—

TEL 0795-88-5045

MAIL tambakem@pref.hyogo.lg.jp

URL <https://web.pref.hyogo.lg.jp/tnk11/siritan.html>

“シリ丹バレー”プロジェクトとは？

兵庫県では、県政150周年を迎えた2018年、兵庫の未来を確かなものとし、進むべき道を県民と広く共有するため、「兵庫2030年の展望」を策定しました。

丹波県民局では、2030年に向けての主要施策として“シリ丹バレープロジェクト”を掲げ、空き家や廃校等の有効活用や、起業家のアイデアや技術を使って地域の課題を解決する事例の集積を目指しています。

キックオフミーティングのゲスト

基調講演

大南 信也さん 認定NPO法人グリーンバレー 理事

徳島県神山町生まれ。米国スタンフォード大学院修了。過疎地域が生き残るための解決策を見いだそうと、90年代初頭よりアートや環境を柱に地域と世界をつなぎ、グローバルな視点での地域活性を展開。ワーク・イン・レジデンスによる若者や起業家の移住、ITベンチャー企業のサテライトオフィスの誘致による雇用の創出を推進。「創造的過疎」を掲げ、現在は「神山まるごと高専」設立に向けて邁進中。



コーディネーター

瀬戸 大喜さん 合同会社ルーフス 代表

北海道生まれ。2015年より、子どもの主体性を伸ばす「ささやま寺子屋塾」を経営。元丹波篠山市地域おこし協力隊であり、現在はコーディネーターとして、丹波篠山市内のローカルベンチャーを支援。「困り事を仕事に育てる起業家」の輩出をテーマに中学生や高校生向けの起業家育成活動も進める。鍼灸師でもある。教育・起業支援・医療から、地域づくりを実践し、子どもからお年寄りまで、多様で豊かな田舎暮らしを支援している。



パ°初ス

安達 鷹矢さん (株)Local PR Plan 代表取締役

大阪府生まれ。大手ECサイト運営企業を経て、丹波篠山市にターンの。NOTEでの古民家再生の業務を経験後、福住で地域PR会社を設立し、ITを駆使した地域資源のPRや移住コーディネートに従事。

「ITとクラフトアートで外貨を稼げるいなかまち」の構想を掲げて同エリアでセレクトショップ・シェアハウス・シェアオフィスを運営。丹波市移住相談LLPの共同代表も務める。



パ°初ス

山口 圭司さん (株)パ°ブリック・キッチン 代表取締役

奈良県生まれ。ソフトウェア開発のベンチャーで上場準備等を経験後、丹波市春日町にターンの。

地理情報システムやアプリケーションの開発・提供をする傍ら、有機農園とカフェレストランを経営。



パ°初ス

恒松 智子さん (株)ご近所

滋賀県生まれ。大阪のPR会社での広報の仕事を経て、移住者であることが入社条件の「ご近所」に入社、取締役を務める。4人の「移住女子」の中心メンバーとして、丹波の魅力ブランディング、デザイン、コンサルティング、Webなどの面からデザイン。「晩酌女子」として地酒の普及にも携わる。



四季の森生涯学習センターへのアクセス

- 公共交通機関ご利用の方
JR篠山口西口より「篠山営業所(図書館経由)」行き乗車約5分「福祉センター」下車、すぐ
- 三田市方面からお越しの方
国道176号線「味間新」交差点右折約5分
- 丹波市方面からお越しの方
国道176号線「味間新」交差点左折約5分
- 高速道路ご利用の方
丹南篠山口ICおりて約3分

